

大雪のとき、高速道路の安全はどう守られているの？

高速道路の仕事

交通に関する仕事

安全対策に関する仕事



東日本高速道路
株式会社
<https://www.e-nexco.co.jp/>



NEXCO東日本の高速道路は、北海道や東北地方など雪がたくさん降る地域にも通っています。どのような安全対策がとられているのか、教えてもらいました。

※NEXCO東日本は、東日本高速道路株式会社の愛称。



迅速な情報収集と判断で、除雪や路面凍結を防止。
対策技術も未来に向けて進化しているよ！



高速道路に雪が降り積もると、車のスリップ事故などによる大規模な車の立ち往生の危険性が高くなります。そこで、高速道路に雪が降る前から、さまざまな対策を行っています。



大雪の予想が出たら…

路面状況の把握や気象情報の分析をし、判断する



①情報収集

道路を巡回して、実際の気象や路面状況を把握。降水予測や道路監視モニターの映像などで情報を収集。

除雪作業は1年間で地球約10周の距離を走る！



②判断・指示

集めた情報から、雪氷作業の判断や指示をする。天候や路面状況は刻々と変化するので、それに適した判断が必要だ。



③除雪開始

雪が降り始めたら、除雪トラックが出動。早朝・深夜を問わず、長時間作業することもある。

現在



トラックの前に「プラウ」(板状の除雪器具)を付けて雪をかきながら走り、積もった雪が踏み固められる前に、道路の端に寄せる。2～3台で出動し、チームプレーで作業する。



道路の端にたまつた雪を、回転装置(オーガ)の力で切りくすして吸い込み、数メートル先の道路外の安全などを飛ばす。



道路が凍るのを防止するために、凍結防止剤をまく。

未来図



▲除雪車など、除雪に関する車が自動運転になる



新しい技術→2023年から運用開始

「みちびき(準天頂衛星システム)」から除雪する車の正確な位置を知らせることで、正しい除雪ができる。除雪作業は扱い手不足が課題だが、この新技術を活用することで、課題解決の糸口になることが期待される。

いま 今までこれからも、安全確保に取り組みます

答えてくれた人

NEXCO東日本
管理事業本部
保全部 保全課
藤田 敦さん

NEXCO東日本は、冬季も高速道路の安心・安全を守るために、除雪や凍結防止剤の散布による路面の安全確保に全力で取り組んでいます。また、新しい技術の開発も並行して行っています。

そのほかに、お客さまに向けて冬季の交通情報や冬のお出かけ時の注意点なども発信しています。

冬の高速道路の安全を守るために、全力で頑張っています！

